

政策 53 商工業の振興

施策 01 工業振興の促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内工業事業所	地域内工業が振興しています。

施策の成果状況と評価

指標	製造品出荷額等	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】 工業統計調査上、(当該年 - 1)年度の数値となります。	万円	16,253,704	17,252,678	-	→
評価	(状況) 国において工業統計調査の実施時期が変更されたことに伴い、評価時点において工業統計調査が公表されていないので、施策の評価ができません。 (原因)	(万円) 					---
							目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 既存企業の育成強化

基本事項 02 新規産業の創出・育成

基本事項01 既存企業の育成強化

指標	事業所数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	社	167	172	-	
評価	工業統計調査上、(当該年-1)年度の数値となります。						---
	(状況) 国において工業統計調査の実施時期が変更されたことに伴い、評価時点において工業統計調査が公表されていないので、基本事項の評価ができません。 (原因)						目標達成度

基本事項01 既存企業の育成強化

指標	従業者数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	人	6,858	6,964	-	
評価	工業統計調査上、(当該年-1)年度の数値となります。						---
	(状況) 国において工業統計調査の実施時期が変更されたことに伴い、評価時点において工業統計調査が公表されていないので、基本事項の評価ができません。 (原因)						目標達成度

基本事項02 新規産業の創出・育成

指標	市内工業事業所の機構活用件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	件	15	28	42	
評価	(状況) 市内工業事業所の郡山地域テクノポリス推進機構活用件数は42件で、前年度と比べ14件増加しています。第7次総合計画開始からの累計は、105件です。 (原因) 郡山地域テクノポリス推進機構における、支援内容のホームページへの掲載や技術コーディネーターの企業訪問などにより周知が図られたことで、機構活用件数が増加しているものと思われます。						(向上)
							目標達成度

基本事項02 新規産業の創出・育成

指標	市内工業事業所の異業種交流研究会参加企業数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	社	6	9	9	
評価	(状況) 市内工業事業所の異業種交流研究会参加企業数は、異業種交流研究会参加企業全26社のうち9社で、前年度と同数です。 (原因) 郡山地域テクノポリス推進機構のホームページなどにより、異業種交流研究会の活動内容の周知と参加促進を図りましたが、企業の業務が多忙などの理由により、新規の参加はありませんでした。						(向上)
							目標達成度

政策 53 商工業の振興

施策 02 商業振興の促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内の商業者	売上高が向上しています。

施策の成果状況と評価

指標	小売業年間商品販売額	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	百万円	76,680	-	-	→
評価	(状況) 小売業年間商品販売額は、5年に1回調査される経済センサス活動調査及び基礎調査により取得していますが、直近の経済センサス活動調査は、評価時点において公表されていないので、施策の評価ができません。 (原因)		(百万円)				目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 魅力ある商業の集積

基本事項 02 商業経営の安定・向上

基本事項01 魅力ある商業の集積

指標	市内中心部における平日歩行者通行量 (調査日1日当たり)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	人/日	2,186	1,899	2,026	→	☀ (向上)
評価	(状況) 市内中心部における平日歩行者通行量は2,026人となり、前年度の1,899人に比べ127人増えています。しかし、平成26年度実績値の2,186人までは達していません。 (原因) 調査日の天候が昨年より良かったことで、増加したと考えられます。しかし、昨年に引き続き道路拡幅工事が施工され、歩行しづらい状況であったため、平成26年度の歩行者通行量までは達しなかったと考えられます。						目標 達成度	---

基本事項02 商業経営の安定・向上

指標	廃業率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	%		-	-	→	---
評価	(状況) 廃業率は、5年に1回調査される経済センサス活動調査及び基礎調査により取得していますが、直近の経済センサス活動調査は、評価時点において公表されていないので、基本事項の評価ができません。 (原因)						目標 達成度	---

基本事項02 商業経営の安定・向上

指標	創業者数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	人		14	4	→	☔ (低下)
評価	(状況) 創業支援事業計画に基づく創業セミナーを受講した54人のうち、4人が創業しましたが、前年度に比べ10人減少しました。支援制度を創設した平成27年度からの累計創業者数は18人です。 (原因) 創業セミナーの受講によって創業や経営に関する知識が深められるとともに、融資制度の活用によって開業資金が確保できることなどにより、創業につながったと推測されます。また、平成27年度は初年度であり、創業希望者が多く存在している状況にあり、創業者数が多かったものと推測されます。						目標 達成度	---

政策 54 観光・交流の推進

施策 01 観光誘客の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
須賀川市への観光客 観光関連事業者 市民	須賀川市の認知度が高まり、観光客が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	観光入込客数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	1,177,400	1,235,234	1,236,000	→
評価	(状況) 観光入込客数は1,236,000人です。福島県調査に係る須賀川市観光地別入込客数集計において、平成24年度基準値の1,190,617人から45,383人増加し、前年度より766人増加しました。 (原因) 福島県が実施したデスティネーションキャンペーンによる県の認知度の向上のほか、首都圏及び友好都市で行われるイベント等での観光誘客活動の成果によるものと考えられます。また、花火大会の観光客数については、市内外に広く認知されており、例年どおりでしたが、松明あかしについては、当日の天候にも恵まれ、前年比18.2%増の130,000人となりました。		(人) 				目標 達成度
							■ ■ ■ (中)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光情報の充実

基本事項 02 着地型観光の推進

基本事項 03 観光おもてなし体制の充実

基本事項01 観光情報の充実

指標	観光協会ホームページへのアクセス数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【観光交流課】	件	-	23,566	29,016	→
評価	(状況)平成28年度観光協会ホームページアクセス数は29,016件で、昨年度より約23.1%の増となっています。 (原因)ホームページ内写真の更新や、ツイッターの更新を随時行ったことにより、閲覧者の必要な情報を提供できたことによるものと考えられます。					目標達成度	---

基本事項01 観光情報の充実

指標	須賀川市の観光の取組がマスコミ等へ取り上げられた回数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【観光交流課】	回	-	3	6	→
評価	(状況)観光の取組がマスコミ等へ取り上げられた回数は6回でした。前年度は、テレビ及びラジオによる出演回数は3回でしたが、平成28年度は大幅に増加しました。 (原因)平成28年度は、牡丹園発祥250年の年であることや、ウルトラマン関連事業が市内外に広く認知されたことによるものと考えられます。					目標達成度	---

基本事項02 着地型観光の推進

指標	観光ルート数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【観光交流課】	ルート	2	2	3	→
評価	(状況)観光ルート数は3ルートで、前年度に比べ1ルート増えました。昨年同様、桜の開花に合わせた桜散歩や須賀川牡丹園を中心とした花めぐり4園コースの2ルートに加え、平成28年度はまちなかを散策するコースを設定し、ガイドマップを作成しました。 (原因)花の開花時期については、既存の観光ルートが構築されていましたが、新たな観光ルートの構築が必要であり、特にまちなか散策のための観光ルートを設定した結果です。					目標達成度	---

基本事項02 着地型観光の推進

指標	観光資源数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【観光交流課】	箇所	20	27	31	→
評価	(状況)観光資源数は、前年度の27箇所から4箇所増加し、31箇所となりました。 (原因)ウルトラマン関連事業に伴い、新たな観光資源として、北町地内に「ウルトラの母」、「ウルトラマンエース」、「ウルトラマンタロウ」、市庁舎前に「ウルトラの父」のモニュメントを設置しました。					目標達成度	---

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光情報の充実

基本事項 02 着地型観光の推進

基本事項 03 観光おもてなし体制の充実

基本事項02 着地型観光の推進

指標	宿泊者数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	61,200	62,295	62,563	➔
評価	<p>(状況) 宿泊者数は62,563人で、前年に比べ268人増加するなど年々増加傾向にあります。</p> <p>(原因) 新庁舎の建設や市民交流センター整備などによるビジネス関係の需要もありますが、須賀川市釈迦堂川花火大会や松明あかし開催日前後は市内ホテルは満室状態で予約が取れない状況です。各イベント事業を継続的に実施しているため、リピーターの宿泊客が大半を占めており、イベント当日に次年度の予約をするなど、固定客が多いことが原因と考えられます。また、藤沼湖周辺施設の코テージが平成27年度から再開したことにより、若干の増加がみられました。</p>					目標 達成度	---

基本事項03 観光おもてなし体制の充実

指標	須賀川ふるさとガイドの会会員数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	43	40	45	➔
評価	<p>(状況) 須賀川ふるさとガイドの会会員数は45人で、近年は40人台で推移していますが、前年度に比べ5人増となっております。</p> <p>(原因) 須賀川ふるさとガイドの会が、会の役割、やりがいなどを自らPRし、勧誘してきた結果と思われます。</p>					目標 達成度	---

政策 54 観光・交流の推進

施策 02 交流人口の拡大

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、市外住民で須賀川市に関心のある人	様々な交流事業等を通して、交流人口が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	平日滞在人口（1日当たり平均）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	57,198	56,786	56,659	→
評価	<p>(状況) 平均滞在人口（1日当たり平均）は56,659人です。人口や産業構造など、人の流れを可視化する地域経済分析システム（RESAS）によると、平成26年度の実績値は9月～3月平均で57,198人、平成28年度の実績値は4月～8月の平均であり、57,000人前後で推移しています。県外の来訪者は、宮城県と東京都が入れ替わりで1位、2位となり、続いて、埼玉県、栃木県、神奈川県が上位を占めています。（指標値の取得方法は平成28年度から変更となりました。）</p> <p>(原因) RESASでは来訪目的が不明ですが、宮城県や東京都からの来訪が多く、新庁舎建設や市民交流センター整備等での来訪が考えられます。</p>						目標 達成度

指標	休日滞在人口（1日当たり平均）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【観光交流課】	人	58,822	58,598	58,963	→
評価	<p>(状況) 休日滞在人口（1日当たり平均）は58,963人です。休日滞在人口は、平日滞在人口と同様に取得しており、新たなデータによる平成26年度の実績値は58,822人であり、平成28年度まではほぼ同数で推移しています。なお、県外からの訪問は、東京都が平成26年10月から平成28年8月まで1位で、宮城県がほぼ2位となっています。続いて、平日滞在人口と同様に、埼玉県、栃木県、神奈川県が上位となります。</p> <p>(原因) RESASでは、来訪の目的が不明ですが、上位5都県は平日と同様の傾向であり、ビジネス関係での来訪が原因と考えられます。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 国際交流・都市間交流の推進

基本事項 02 須賀川サポーターズクラブの充実・拡大

基本事項 03 定住人口拡大の促進

基本事項01 国際交流・都市間交流の推進

指標	他自治体住民・団体等と交流したことがある市民割合 【観光交流課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
			%	40.2	-	40.2	→
評価	<p>(状況) 他自治体住民・団体等と交流したことがある市民割合は40.2%です。内訳は、「文化・スポーツなどを通じて」が12.6%、「イベントなどへの参加」が26.1%、「市主催の事業で研修や視察への参加」が7.2%です。年齢別の特徴は、「文化・スポーツ」は75歳以上、「イベント」は30歳代、「市主催」は75歳以上で一番多くなっています。平成26年度と比べ、「文化・スポーツ」で2.7、「イベント」で1.5、「市主催」で1.1ポイントの減となりました。</p> <p>(原因) 内訳ではそれぞれやや減少しましたが、全体では平成26年度実績値と同じ40.2%であることから、他の自治体との交流は、引き続き図られていると考えられます。</p>						☁ (横ばい)
		目 標 達成度	---				

基本事項01 国際交流・都市間交流の推進

指標	国際交流に関心のある市民割合 【観光交流課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
			%	40.1	-	42.2	→
評価	<p>(状況) 国際交流に関心のある市民割合は42.2%です。内訳は、「現在外国の方と交流している」が4.1%、「外国の方と交流してみたい、関心がある」が36.9%となっています。年齢別の特徴としては、「現在交流している」は50歳代が、「交流してみたい、関心がある」は20歳代が一番多くなっています。平成26年度実績と比較して、「交流している」が0.6%、「交流してみたい」が0.3%とそれぞれ増加し、全体でも2.1%の増加となりました。</p> <p>(原因) 市内の国際関係団体による国際理解の促進に取り組む様々な活動や、近年の訪日外国人の増加が影響していると思われます。</p>						☀ (向上)
		目 標 達成度	---				

基本事項02 須賀川サポーターズクラブの充実・拡大

指標	須賀川サポーターズクラブ会員数(累計) 【観光交流課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
			人	780	852	944	→
評価	<p>(状況) 須賀川サポーターズクラブ会員数(累計)は944人で、前年度から92人増えました。平成23年の発足以降、順調に会員数を伸ばしています。</p> <p>(原因) 友好交流都市協定を締結した神奈川県座間市や交流のある自治体を中心とした会員数が伸びていること、また、協賛店を追加したことにより、新規協賛店舗利用者の会員登録数が伸びたことが原因と考えられます。</p>						☀ (向上)
		目 標 達成度	---				

基本事項02 須賀川サポーターズクラブの充実・拡大

指標	市のPRに協力した会員割合 【観光交流課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
			%	-	-	-	→
評価	<p>(状況) 平成28年度は首都圏等での物産展で述べ23人に販売協力をいただきました。平成27年度に活動状況を把握するためにアンケートを実施しました。</p> <p>(原因) アンケートの回収率は18%でした。集計結果によると、須賀川市に年に1回以上、宿泊等をし、観光している方が38%、須賀川市のイベント(花火大会や松明あかしなど)をPRしている方が64%、須賀川市の物産展に行った若しくは買い物をした方が46%、須賀川市にふるさと納税をした方が4%でした。</p>						---
		目 標 達成度	---				

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 国際交流・都市間交流の推進

基本事項 02 須賀川サポーターズクラブの充実・拡大

基本事項 03 定住人口拡大の促進

基本事項03 定住人口拡大の促進

指標	市外からの購入者数 【観光交流課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき (横ばい)
		人	8	1	3	→	
評価	<p>(状況)平成28年度は、宮の杜ニュータウンで2区画、ガーデンタウン虹の台で4区画の合計6区画を販売し、そのうち市外からの購入者は、宮の杜が1人、虹の台が2人の合計3人となっています。 (原因)平成28年度から「東日本大震災被災者支援特別割引制度」を創設したことから、この割引制度の適用により被災者の方が購入したことによると考えられます。</p>					目標 達成度 ---	

基本事項03 定住人口拡大の促進

指標	分譲地販売割合 【観光交流課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき (横ばい)
		%	92.7	93.6	94.3	→	
評価	<p>(状況)分譲地販売割合は94.3%です。分譲地全875区画中、平成28年度末現在825区画が販売済みで、内訳は宮の杜ニュータウン365区画(完売)、ガーデンタウン虹の台33区画、御膳田住宅地55区画(平成25年度中完売)、ながぬまニュータウン95区画、岩瀬ニュータウン277区画となっています。平成28年度の販売数は、宮の杜2区画、虹の台4区画の計6区画でした。 (原因)平成28年度から「東日本大震災被災者支援特別割引制度」を創設しました。この制度の半額割引を適用し、被災者の方が複数区画を購入したことによると考えられます。</p>					目標 達成度 ---	